

経営気学コンサルが教える

人生の勝算を高める方法

株式会社ブルースリー
代表取締役社長 季世

実
ら
な
い

ま
か
な
き
や

種
は

目次

はじめに　　～本書を読んでわかること～……………007

第1章　ナインズ・エアの根幹「九星気学」とは？

気学の原点は、中国の「易」……………	024
国家機関「陰陽寮」で用いられていた……………	025
歴史上の多くの人物が気学を用いていた……………	027
易学は身近に使われている……………	028
平安京に用いられた風水……………	029
東京の街は気学でできている……………	031
西洋占星術との違い……………	034
利己主義!?　それでOK……………	036
【ナインズ・エアの実践　CASE1】デジタルマーケティング事業　経営者……………	039

第2章 九星の基本と5つの星の関係性

九星を調べよう.....	044
九星早見表がなくても計算できる方法.....	046
各星の意味とは？ 五行を知ろう.....	047
色の意味は？.....	051
五行の関係性.....	052
相剋の関係の相手との向き合い方.....	056
相剋関係にある、離れた星の相手との向き合い方.....	060
【ナインズ・エアーの実践 CASE2】IT業界 経営者.....	062

第3章 九星の各星の特徴

- 一白水星(1945年/1954年/1963年/1972年/1981年/1990年
/1999年/2008年/2017年生まれ)……………069
- 二黒土星(1944年/1953年/1962年/1971年/1980年/1989年
/1998年/2007年/2016年生まれ)……………080
- 三碧木星(1943年/1952年/1961年/1970年/1979年/1988年
/1997年/2006年/2015年生まれ)……………092
- 四緑木星(1942年/1951年/1960年/1969年/1978年/1987年
/1996年/2005年/2014年生まれ)……………103
- 五黄土星(1941年/1950年/1959年/1968年/1977年/1986年
/1995年/2004年/2013年生まれ)……………113
- 六白金星(1940年/1949年/1958年/1967年/1976年/1985年
/1994年/2003年/2012年生まれ)……………123

七赤金星(1939 / 1948年 / 1957年 / 1966年 / 1975年 / 1984年

/ 1993年 / 2002年 / 2011年生まれ)

八白土星(1938年 / 1947年 / 1956年 / 1965年 / 1974年 / 1983年

/ 1992年 / 2001年 / 2010年生まれ)

九紫火星(1937年 / 1946年 / 1955年 / 1964年 / 1973年 / 1982年

/ 1991年 / 2000年 / 2009年生まれ)

【ナインズ・エアの実践 CASE3】エネルギー関連事業 経営者

【ナインズ・エアの実践 CASE4】建設関連事業 経営者

第4章 九星の運行ルールと、時の流れを知る方法

運の波を知れば、相手への声のかけ方も変わる

運の波は9年周期で動く

【土づくりの年】ジタバタ騒がず、すべてを受け止める!

【種まきの年】後先考えず、種をまいてまいてまきまくれ!

【発芽の年】	思い立ったら即行動！ やりたいことを全部やる！	181
【成長の年】	声しかかからない。期待に全部こたえていく！	183
【剪定 <small>せんてい</small> の年】	俯瞰して冷静に状況を見つめ、整理しよう	185
【完成の年】	これまでの努力の結果が表れる	186
【実りの年】	気の流れに沿っていけば最高利益をたたき出す！	188
【改革の年】	変化をせまられる転換期	190
【離脱の年】	光があれば影も落ちる。陰陽の1年	192
【ナインズ・エアーの実践 CASE 5】	海洋関連事業 経営者	194
【ナインズ・エアーの実践 CASE 6】	自動車販売・整備会社 経営者	197
おわりに	201



はじめに

～本書を読んでわかること～

本書を手にとってくださりありがとうございます。

私は、九星気学や易の考え方をベースに据えたコンサルティングを行う企業コンサルタントとして、経営者にプランをご提案させていただいております。

コンサルティングの具体的な内容としては、起業される方に向けてサポートプランをご提案したり、オフィスや店舗の家相を見て引越しのタイミングやレイアウトの提案を行ったり、採用や社員教育など人事に関するアドバイスを行うなど、多岐にわたります。月契約の場合は、月に1度の面会で、そのときの気の流れに合った経営になるようにお話をさせていただいております。

クライアント企業のニーズはさまざまです。これまで以上に経営をよくしたい方、理想に最短距離で近づきたい方、ご自身や会社の可能性をさらに拡大させたい方だけでなく、「このままでいいのか?」と迷いや違和感を抱いている方、軌道修正の必要性を考えていらつしやる方もいます。九星気学の鉄則は「過去を見ないこと」ですが、回顧することで自己発見できることもあります。自分を整理しながら、理想の着地点を探し、自然の流れに寄り添える生き方を見つけていきます。

私がコンサルティングに入ると、平均で120%利益率が上昇。特に創業間もない

企業や成長期のフェーズにある会社の場合は、売上が爆発的に上昇し、年商の桁が変わることも決して珍しくはありません。

このようにお話しすると、いったいどのような特別なことをしているのだろうかという疑問に思われるかもしれませんが、特別なことは何もしていません。私がしているのは、ただ、その社長の運気の流れを読み、流れに乗ってもらっているだけです。

本書を読んでわかること① いますべきことが明確になる

日本に春夏秋冬があるように、人の一生の中にも季節のようなものがあります。

行動的になり、何をやっても成功するときもあれば、いまひとつ気分が乗らないような時期もあります。

絶対調のタイミングなのに何も行動せずにぼーっと日々を過ごすのは、とてももつたないことです。逆に、新規事業を始めるタイミングではないのにスタートしてしまうと、うまくいかないこともあります。

九星気学の運氣の流れ方にはルールがあり、基本的には下記のように流れます。

- ①【土づくりの年】スタートに立ち、土を熟成させて養分を蓄える時期
- ②【種まきの年】種をまく時期
- ③【発芽の年】まいた種が芽吹くとき
- ④【成長の年】努力が実り、発展するとき
- ⑤【剪定の年】さらに進展し、花を咲かせるために環境を整えるとき
- ⑥【完成の年】大きな花が咲くとき、充実した日々を過ごせるとき
- ⑦【実りの年】花が終わり、果実が実るとき
- ⑧【改革の年】果実が落ち、動きが止まり、変化が求められるとき
- ⑨【離脱の年】生き方の結果が表れるとき。次のステージに向けてこれまでのやり方や考え方をリセットするとき

「ホップ、ステップ」という段階を経なければジャンプできないように、運氣は常にこのように動いており、流れが変わることはありません。つまり年間の流れで考えてみると、次に同じ運氣になるのは9年後です。もし、今年種をまかなければならない

時期なのに何もしていないのだとしたら、次に種まきのチャンスが訪れるのは9年後になってしまうのです。

いま、この瞬間を大切に、いましかできないことを行うことで、実りの多い人生を送ることが出来ます。そのためには、自分がいまどのような時期にいるのかを知ることが非常に重要です。

「もつと努力しなさい、がむしやらに働きなさい」と言われると辛いかもしれませんが、「今年1年間だけのはめちやくちや頑張ったほうがいい。そうすれば来年は努力が実って楽しい1年になるから」と言われたら、何とか頑張ろうと思えるのではないのでしょうか。力を発揮すべきときに行動できるようになるためにも、9年周期のルールを知っておくことは大きな意味があると思います。

私は、9つの星が運行するこの法則に基づき、事業をスタートするタイミングや、交渉ごとを行うタイミング、店舗オープンに適した日などのアドバイスをしています。これまで20年以上企業に提案させていただく中でトライ&エラーを繰り返し、精度を上げてきました。

そして、実践の積み重ねの末編み出したのが、独自の開運術「気流れの方程式 9AIR (ナインズ・エア)」です。

**運気の流れを読むことで、いまどのような行動を取ればいいのか、生きるうえで
指針が見つかります。** 流れを理解することは自分を理解することにつながるので、「なるほど、だからこうなるのか」と自分の行動の結果について納得できます。

人は腑に落ちれば、覚悟が決まります。そして「**自分がうまくいかないのは、自分ではなくアノせいだ**」と**他人や何かのせいにする考え方をあらためることができて、
アクションを起こす底力が湧いてきます。**

また、パートナーの運の流れを把握していれば、いまは背中を押したほうがいいのか、それとも逆に休ませてあげたほうがいいのかなど相手への適切な接し方もわかります。

本書を読んでわかること② 自分の強みや、周りの人の特徴がわかる

九星気学は陰陽五行説（木・火・土・金・水）をベースにした学問ですが、**自分の星の特徴を知ること**で、**自分の強みがわかるようになります**。

例えば、土星の方は万物を育む大地の星で、論理をひとつひとつ積み上げることが得意なので、ロジカルにものを考えたり、仕組みを考えたり、どこが問題点なのかを振り返って正していくことができます。

水の星である水星の方はどんな状況に置かれても対応できる順応力を持ち、相手が誰であっても柔軟に対応することができますし、フワフワと風に揺れる木の星である木星は、行動的で常に新しいことを追い求めることができます。物知りの火星は、人が知らないマニアックな情報を披露することができます。このように自分の強みがわかれば、適職選びだけでなく普段の業務にも活かすことが可能になりますし、「この部分は自分が苦手だから人に任せよう」といった判断も容易になります。

本書を読んでわかること③ 相手の星ごとの接し方がわかる

九星気学を習うことの利点は多くありますが、そのひとつが「自分と相手は違う星のもとに生まれた人間だとわかる」ことです。

例えば、私自身は三碧木星で、早起きが得意。朝からエネルギーに満ちており、元気いっぱい「おはよう！」とあいさつすることができます。

しかし、例えば金星や土星の方は朝が弱く、夕方以降に調子が出てくる方が多いため、朝はいつも不機嫌、という場合が少なくありません。

もし、自分と相手の星が違うということを理解していないと、「どうしてこの人は朝から不機嫌なんだろう、元気にあいさつしたほうがお互いに気持ちがいいのに」とか、「もしかして、何か気に障ることを言ってしまったのかな」などと悩んでしまいがちです。しかし、九星気学で相手の星の特徴を知っていれば、「この人は土星属性だから、朝に元気がないのは仕方ないな。夕方以降に話しかけよう」などと、接し方が

わかるようになります。

私自身、九星気学を学ぶ前は人との接し方で悩むことばかりでした。

自分の子どもへの接し方も例外ではありません。長男が生まれたとき、私は育児書をかたっぱしから読んであらゆる教育方法を試す教育ママでした。食べるものはオーガニック食品にこだわり、洋服もブランドのものを買い与え、いろいろな習い事をさせていました。できるだけいい教育をさせたい、という意識が強くあったのです。しかし、知らず知らずのうちに息子に対する期待が高くなってしまったのでしょうか、あるときから子どもがチック症状を発症するようになります。「こんなに一生懸命子育てをしているのに、なぜ!？」と自分自身を責めました。自分のやり方が間違っていたのかもしれない、子どもの話を聞かなければと思って話しかけても、その頃には、子どもが私と目も合わせてくれないほど、心を閉ざしてしまったのです。

そんなときに思い出したのが、九星気学です。

九星気学は、もともとの専門であった風水学の基盤となる知識として多少の教養が

ありました。

私は美大卒業後、インテリアデザイナーとして内装業に従事し、飲食店、小売店、ホテルなどの内装を手掛けていました。お客様が求めているお店を追求した結果、お客様のニーズは「売れる店、そしてカッコいい店」という結論に至ります。

それから、「どうしたら売れる店がつくれるんだろう」と悩んだ結果たどりついたのが、九星気学や易を軸にした風水の考え方だったのです。

風水は、どこに風が吹き水が流れるのか、どうしたら場の空気が整うのかを追求した学問です。

気の流れにフィットすれば体は自然にゆるみ、居心地のよさを感じていきます。至極当然ではありませんが、現代社会においては迷信とみなされ、軽視されているように思え、残念でなりません。

風水の知識をデザインに活かすことで、仕事は大きく成功します。

そして、九星気学を学べば学ぶほど、息子との関係も良好になります。自分と息子が違う星のもとに生まれてきた人間であることや、**自分がよかれと思っていることが、**

子どもにとっては必ずしもいいことではないと気づくようになったのです。

例えば、私はじつと静かにしているよりも動いているのが好きな三碧木星で、少々せっかちなところがあります。一方息子には、豊かな感受性を持つ九紫火星。じっくり本を読んだりすることが好きなのに、私が次々と別のことをさせようとする態度についていけないと思うことがあつたかもしれません。

また、水泳を嫌がる息子を説得し、無理にスイミングスクールに通わせていた時期もありました。一般的に九紫火星の子どもは、水泳を嫌がる傾向があります。なぜなら、九紫火星は火の星で、火は水をかぶると消えてしまうからです。息子にとっては、自分の炎が消えていくような感覚がしたのではないのでしょうか。

繰り返しになります。相手を知り、相手がどんなことに喜ぶのか、何を求めているのかを把握できれば、良好な人間関係を築くことができます。

例えば、相手が木星の人なら最新の流行りの情報を、相手が火星ならブランド性やオシャレ感度の高い情報を、相手が土星なら老舗の店や、昔から根強いファン層があ

る情報を、相手が金星なら食べることが趣味なので、とにかく美味しい情報を、相手が水星なら一見さんお断りのな、知る人ぞ知る店の情報を与えると、喜んでもらえる可能性があります。

仕事においても、例えばプレゼンテーションをするとき、「クライアントは火星の人で美的感覚に優れているからデザインにこだわろう」とか、「この人は土星で根拠や論理を求めるから精密なロジックで攻めよう」「この人は木星だからネットワークの広さを強調しよう」など、戦略が立てやすくなります。

もし自分には理解できないような行動を相手がとったとしても、「何でそんなことするの!?信じられない!もう嫌い!」と責めるのではなく、「この人は、こういう星の人だから仕方ないよね」と納得することができます。例えば、土星属性の人はじっくり考えて行動する方が正しいのですが、そのことを知っていれば、どんなに急いでいたとしても「この人は土星属性だから、即答しなくて当然だよね」と割り切ることができます。

パーソナルではなく、「星」の違いで相手を考えると、無駄に感情を荒立てること

がなくなり、相手を「星」で理解できるようになるので、嫌いな人がいなくなります。

九星気学は古い手法だと思っている方もいますが、「あなたとは相性が悪いから、合わないのは仕方ない」「今日は運勢が悪いから、不運なことがあるのは仕方ない」とあきらめるためのものではありません。占いが好きな多くの方は、「運命は変えられないもの」と信じてしまっているように思いますが、九星気学で考える「運命」は、決して変えられないものではありません。「こうなりたい」と目標を決めたら、時間を味方につけ、気の流れに沿って行動することで、最短距離で目指す姿に到達できるのです。

2021年は、西洋占星術では「風の時代」の始まりの年といわれます。「占いは信じない」「スピリチュアルな話は苦手」という人も、激動の2020年を過ごし、時代の変化を肌で感じた人も多いのではないのでしょうか。

「風の時代」の前は「土の時代」で、この時代は約200年続きました。約200年前に何があったかという点、産業革命が起こり、カタチのあるものや経

済が重視され、人々はお金を使うことに価値を置く時代が始まりました。

これからの風の時代は、情報や知識など、目に見えないものが重視されるようになっていきます。つまり、風の時代が始まったいま、既存の価値観にとらわれず、正しい知識を身につけ、自分自身で新しい未来を切り拓いていくのに最も適しているタ
イミング、といえます。

九星気学は、自然科学、天文学、哲学、統計学が一体となった学問であり、自然の法則を知ること、不幸を未然に防ぎ、幸せになるための行動を積極的にとっていくことができます。

自分の運命や相手の運命を知って終わり、ではなく、能動的に運氣をよくしていけるのが、九星気学の本質であり、ナインズ・エアが目指していることです。

これまで私は、多くの経営者の方たちと、ナインズ・エアを活用して、希望の未来を手にしてきました。私を信じて実行してくれた勇者たち、そしてその周りで応援

してくれたご家族や仲間の皆さんに感謝の思いを伝えるためにこの本を書きます。

そして、**自然の法則を体系化した教養として、この世に生きるすべての人にこの学問を知ってほしいと思っています。**

私の師匠は、私がまだ駆け出しの頃、「先生、こんなにすごいことがあったんですよ！」と報告すると、

「キミは、まだ『気学』によるミラクルの入り口に来たただだよ、これからますますおもしろくなるよ」と、満面の笑顔を向けてくれました。

キミは、想像をはるかに超えた世界を目にするよ。

キミは、キラキラと光輝く未来を手にするよ。

師匠が言っていた通り、その後このビジネスが軌道に乗り、多くの素敵な経営者様と出会うことができました。師匠はもう他界していますが、この当時の師匠とのやり取りを思い出すと、「輝かしい未来を手にする予感」にワクワクと高揚していた気持

ちがよみがえります。

気学を知ると、未来が楽しみで楽しみで仕方がなくなります。

これからに希望が持てるため、生きることが楽しくなるのです。

これまでの予想をはるかに超える、想像したことのない世界。気の流れに乗れば、そんな未来を手にすることが可能です。ぜひ、一緒に気の流れを見つけていきましょう。

株式会社ブルースリー 代表取締役社長 季世